



令和5年度考古企画展

わたしたちの すぐいせきぐん 須玖遺跡群

2023年 (令和5年) 8月26日(土) ~ 10月22日(日)

[開館時間] 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)

[休館日] 9月19日(火)、10月17日(火)

[入館料] 無料

春日市 なこく おかれきししりょうかん 奴国の丘歴史資料館 特別展示室



左上から時計回り ●草葉文鏡 (復元品) / 須玖岡本遺跡出土 / 当館蔵 ●銅鏡鑄型 / 須玖岡本遺跡出土 / 当館蔵 ●勾玉 / 須玖岡本遺跡出土 / 当館蔵 ●土製鑄型 / 須玖タカウタ遺跡出土 / 当館蔵 ●銅戈 / 須玖岡本遺跡出土 / 福岡市博物館蔵 ●須玖犬斯塔ちゃん ●鉄矛 / 須玖岡本遺跡出土 / 当館蔵 ●金印 / 志賀島出土 / 福岡市博物館蔵

令和5年度考古企画展
わたしたちの須玖遺跡群

弥生時代、春日市を中心とする福岡平野一帯には
奴国という国がありました。奴国は積極的に中国と
交流し、西暦 57 年には奴国王が中国の皇帝から金
印を与えられました。

さて、春日丘陵の周辺には弥生時代の重要な遺跡
が密集しています。その規模は東西 1 km、南北 2 km
に及び、一つの大きな集落と考えられ、「須玖遺跡群」
とよばれています。明治32年には、須玖岡本遺跡で、
大量の宝物をおさめた奴国王墓が見つかりました。
その他にも、奴国の繁栄を支えた青銅器やガラス製
品などをつくった当時のハイテク技術が集中してい
ることからも、須玖遺跡群は奴国の王都であったと
考えられています。

今回の展示では、須玖遺跡群の最新の調査成果や
これまでの研究で明らかになった集落の全体像を分
かりやすく紹介します。



上から●復元された奴国王墓●鋳型／須玖遺跡群
出土／当館所蔵●銅矛／西方遺跡出土／個人蔵

関連講演会

『国宝「漢委奴國王」金印の考古学』

奴国の象徴的な遺物である金印について、最新の研究から
明らかになったことを詳しくお話します。



日時 9月30日(土)
午後2時～午後4時
※午後1時30分から開場
講師 石川日出志氏(明治大学教授)
会場 ふれあい文化センターサンホール
定員 250名
※事前申込不要(当日受付先着順)
※当日、午後1時から整理券を配布
主催 弥生の里かすが奴国の丘
フェスタ実行委員会

春日市 奴国の丘歴史資料館

開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日：第3火曜日

〒816-0861 福岡県春日市岡本3丁目57番地

TEL 092-501-1144 FAX 092-573-1077

Eメール：nakoku@city.kasuga.fukuoka.jp

資料館 HP



奴国の丘歴史資料館

検索



URL：https://www.city.kasuga.fukuoka.jp/miryoku/historymuseum/